

バーリン AB1500F

大型橋梁点検車バーリン AB1500F

最大地下深さ：-18.6m 最大積載量：250kg 保有台数：1台



- スタビライザーその場設置で作業時の全幅 2.5m
- 歩道幅 1.15m~4.2mまでの歩道を越えて作業可
- 最大地下深さ 18.6m、最大差込深さ 15.0m
- 橋桁底面が低い橋梁や、橋桁の薄い橋梁での作業性能が向上
- バケットが 85cm 上昇するバケットエレベータ搭載
- スタビライザーにより微速走行・連続作業可
- トラスや斜張などのすり抜けも得意
- B2(第2ブーム)を国内一般道の薄い橋桁に合わせて AB1400 より 1.3m短くしました。
※この車輛はオペレータ 2 名付のリースとなります。

◆様々な悪条件に対応・日本の一般道ジャストサイズの橋梁点検車

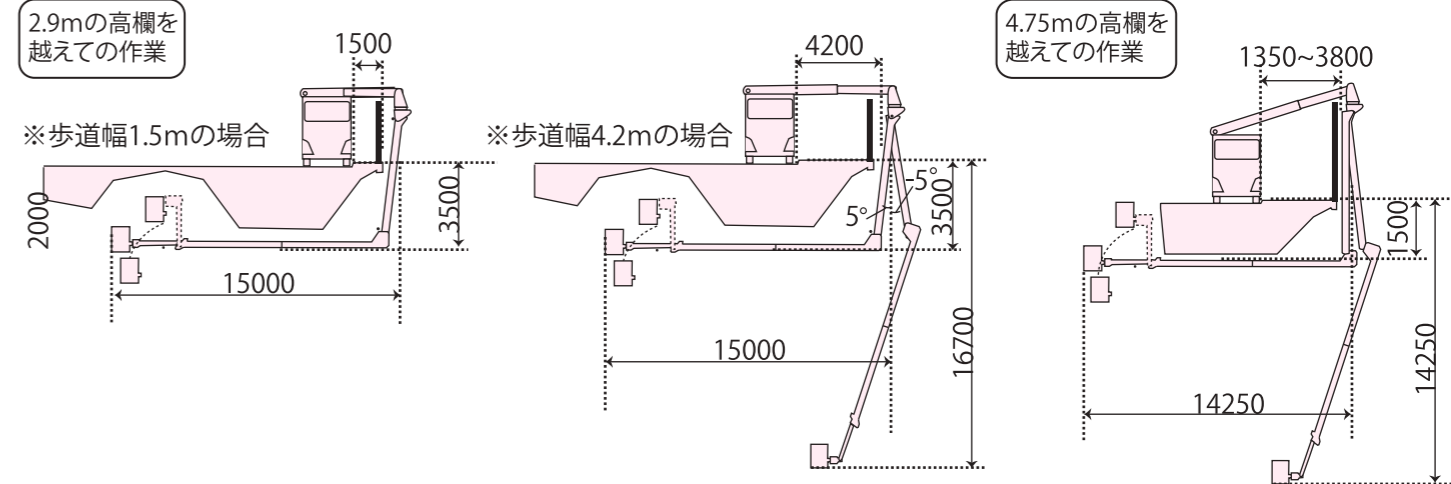
日本の一般道は、道幅も狭く形状も様々で、画一的な対応ではクリアできない問題も多々あります。そんな悪条件が重なった現場でいかに作業を行うか、弊社の長い橋梁現場でのノウハウを生かして、オリジナルの橋梁点検車を開発致しました。

仕様

型式：バーリン AB1500F

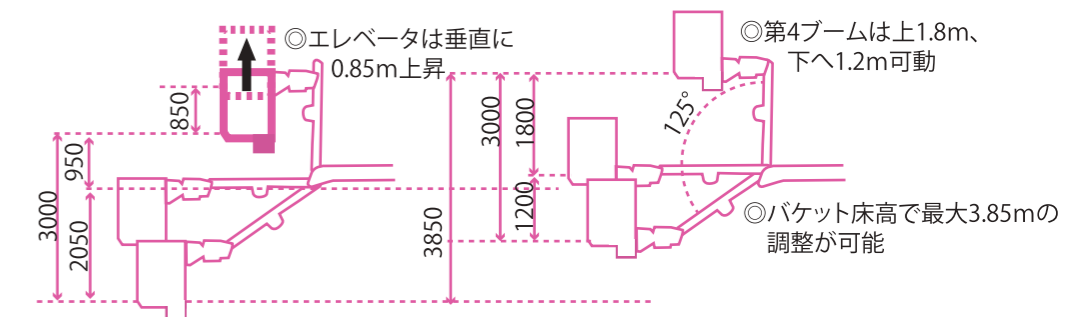
最大積載量	250kg
最大地下深さ	-18.6m
最大差込み長さ	15.0m
遮音壁乗越え性能	4.75m
歩道乗越え性能	1.15m~4.2m
車両寸法(長さ×幅×高さ)	11.73m × 2.5mm × 3.78m
デッキ外寸法(長さ×幅×高さ)	標準：1.8m × 0.8m × 1.105m
傾斜(作業時)	±4° (±7%) 横断・縦断共 ※路面等の状況等によって異なる場合もあります。
スタビライザ-接地圧	9kg/cm ² 以下
車両総重量	24,850kg
その他	スタビライザーその場設置 (作業時全幅 2.5m)

作業範囲図



バケットエレベータ

橋桁の下側でバケットを上下する場合、これまでは第3、第4ブームを角度調整しながら桁裏へバケットを寄せる作業が必要でした。AB1500Fは、バケット背部にエレベータを設置。垂直に85cm上昇することが出来るので作業ポイントへ効率よく寄ることができます。また、第4ブームも長めに設計されており、エレベータと合わせると1.8m上昇できます。



寸法図

